

第100回一般質問一覧表

6. 3. 25

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	村岡栄紀	立地適正化計画の更なる推進を	<p>(1) 目指す都市構造の「軸」となる道路の整備状況は。</p> <p>(2) 「立地適正化計画」と「西脇市まちなか（中心市街地）活性化計画」の超少子高齢時代における人口減少対策としての位置づけ（何が違うのか）と、整合性は。</p> <p>(3) 「立地適正化計画」と「西脇市まちなか（中心市街地）活性化計画」が互いに連携することによって、シナジー効果を生み出すといった都市拠点形成手法は。</p> <p>(4) 区域区分の廃止は立地適正化計画の推進に影響しないのか。</p> <p>(5) 今後、職員が減少し、今の人口分布割合（人口38,551人、そのうち居住誘導区域（27%）居住誘導区域でない市街化区域（23%）市街化調整区域（33%）都市計画区域外（17%））のまま人口減少が続けば、住民サービスが厳しくなると想定されるため、今以上に2拠点に人口を集中させ、かつ、少なくとも市街化区域に7～8割の人口を集中させる必要があると考えるが。</p> <p>(6) 人口減少が進む本市において、2拠点内、特に東の拠点に「若者向け集合住宅」や「高齢者が安心して住み続けられる集合住宅」などのインフラ整備が急務になってくると思うが、その時期、場所、規模等、事業計画の展望は。</p> <p>(7) 岡山県奈義町における「子育て支援」や「しごとコンビニ」については、これからのまちの共助の在り方において、大いに参考になると考えるが。</p>	部 長
			<p>(8) これから人口が減少していく本市の方向性として、子育て支援こそが、最大の高齢者福祉につながる大きなキーワードになってくると考えるが。</p> <p>(9) 人口減少・少子化の抑制とともに、人口減少を前提としたまちづくりとは、コンパクトシティ＋ネットワーク＋地域における助け合いだと考えるが。</p>	市 長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
2	東野敏弘	西脇市における森林政策について	(1)西脇市における森林（私有林・共有林・市有林）の現状を問う。 ○西脇市における森林（私有林・共有林・市有林）の管理状況（間伐や植林等）や整備状況（林道等の整備）、課題は。	部長
			(2)森林の地籍調査の現状と方向性を問う。 ○西脇市では、平野部での地籍調査が急ピッチで進められている。森林の地籍調査は、近隣市町では取り組まれているが、西脇市では現状取り組んでいない。今後の森林の地籍調査の計画は。	
			(3)森林所有者の意向調査の実施について ○森林経営管理制度の実施のためには、森林所有者の意向調査を行い、集積計画や配分計画等の計画づくりが必要である。森林所有者の意向調査の実施について西脇市の取組状況と今後の計画を聞く。	
			(4)森林譲与税の有効な活用について ○令和6年度から森林環境税として、個人住民税均等割を年額1,000円引き上げ徴収することもあり、森林環境譲与税の活用がより注目される。市民への周知をどのように行うのか、また森林環境譲与税の有効活用をどのように考えているのか。	
			(5)西脇市の森林政策について、市長の考えを問う。 ○西脇市の森林は、「サントリー天然水の森」に示されているように、秘めた可能性を持っている。西脇市の今後の森林政策について、市長の考えを問う。	市長
3	藤原哲也	防災対策の備えについて	(1)避難所で使用する災害時の簡易トイレについて ○簡易トイレの備品の状況は。 ○緊急時のマニュアルはあるのか。実際に訓練は行っているのか。 ○現状の課題の抽出と対策は。 ○簡易トイレの備品に関する備えとして、民間の業者と包括支援協定を結んでどうか。	部長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(2)水害等で被災された被災者支援などを目的に、民間保険会社との包括連携協定を結んではどうか。	部長
			(3)水道配管主管等の漏れ調査の現状は。	
			(4)いつ起こるかわからない想定外の地震に対する飲み水の確保に、県が進める新たな人工衛星を使用した水道配管からの水漏れ調査に参入する考えは。	
4	杉本佳隆	子育て支援・子育てしやすいまちを目指して	(1)子育て世代への住民アンケート調査について。	部長
			(2)多様な保育サービスの充実について。	
			(3)住宅及び生活環境の整備について。	
			(4)子育て世帯に対する相談支援体制について。	
			(5)子育てに伴う経済的負担の軽減と隠れ教育費の実態について。	市長 教育長 部長
			(6)子育て支援のための環境整備について。	
5	藤原桂造	空き家に対する積極的な対策・流通を	(1)空き家バンクの登録件数に対する認識は。	部長
			(2)空き家バンクの登録件数を増やすための工夫は。	
			(3)空き家の成約件数は。	
			(4)0円物件の現状は。	
			(5)少子高齢化を伴う人口減少により、今後も空き家が増え続けると思われるが、空き家対策・流通についてのこれまでの取組と将来展望は。	
6	浅田康子	平時からの災害対策を	(1)避難所のあり方 ○女性や子育て中の家庭への配慮について ○障害者への配慮について ○高齢者への配慮について ○ペットの同伴・同行について	部長
			(2)災害時の備え ○備蓄食料品の備えと保管状況について	
			(3)御所谷断層の被害想定は。	
			(4)災害時における協定企業 ○大規模災害における長期避難への対応について	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(5)地震や浸水被害が発生した際には、近隣市町や兵庫県の協力が必要となる。協力体制はどのようになっているのか。	市長
		男女共同参画社会の実現に向けて	(1)市の取り組む結婚の支援 ○結婚活動の支援について、出会い創出に向けた市の考えは。	部長
			(2)令和5年度、女性活躍でステップアップできた点、女性活躍を評価すべき成果は。	
			(3)男女共同参画に向けた取組は。	市長
7	岸本年裕	クラブ活動を通じて子ども達に夢を	(1)教員の働き方改革を踏まえたクラブ活動改革について ○少子化に伴う生徒数の減少により、クラブ活動が困難になるということもあるが、教員の働き方改革の一環でもある。西脇市の地域移行はどこまで進んでいるのか。	部長
			(2)子ども達の成長と将来に向けて ○市内では硬式野球をプレーするためのグラウンドが不足しており、市外のチームに在籍せざるを得ない状況にある。子ども達の成長と将来に向けた機会が制限されるだけでなく、保護者の負担も増大している。市内のふれあいスタジアムは、硬式野球として使用できるが、西脇公園野球場は使用できない。その理由は。	
			(3)クラブ活動における「多様性と柔軟性の確保」 ○中学校のクラブ活動は、生徒達が自己を発見し、成長するための重要な場である。これまで教育の一環として行われてきた部活が今後も継続的に実施されるとともに、クラブ活動を改革するこのタイミングで、多様性と柔軟性を確保することによって、生徒たちが自分の興味や能力に応じて活動を選択できる環境の構築が必要と考えるが。	
			(4)子どもたちに夢を ○自分の夢を追い求める勇気と力を身につけることができるクラブ活動の地域移行の大転換を教育長は、どう展開すべきであると考えているのか。	教育長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
8	村井正信	子どもの支援体制（里親制度の普及・啓発）について	(1)西脇市における里親の現状について ○西脇市における里親登録者数は。 ○里親の必要性についてどのように考えているのか。	部長
			(2)市内の里親委託の現状について ○西脇市内で、親元を離れて乳児院、児童養護施設、里親に預けられている割合は。	
			(3)普及・啓発の取組について ①今まで、里親制度の普及・啓発についてどのような取組がなされたか。 ②里親になってもらうための取組は。 ③他市では定期的に里親との意見交換会などが開催されていると聞くが、西脇市での取組は。 ④今後どのような関係を築いていくのか。	
			(4)短期の養育里親について ○ひとり親家庭の保護者が入院などで不在となる間など、数日、数週間の短期養育里親制度があるが、短期の養育里親について積極的な啓発をしていくべき。	
		災害時要援護者の避難所の課題	(1)西脇市地域防災計画に記載のある課題について ○災害時要援護者の把握の現状は。	部長
			(2)○個別避難計画（案）をもとに、要援護者またはその家族と支援者が集まり、避難方法と支援の具体策等を協議し、個別避難計画を完成させるとあるが、現時点での進捗状況は。 ○個別避難計画（案）について、今後の取組予定は。	
			(3)「災害時要援護者を把握し、福祉避難所を指定する」とあるが、現在の避難所は「指定避難所施設一覧」の「指定福祉避難所」か。	
			(4)障害者には「一人では状況判断できない」「移動手段がない」「薬や福祉サービスがない」等々、個人ごとの「社会の障害」が避難所へ行くことを妨げているとのことだ。福祉避難所を開設できるよう、どのように進めていくのか。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(5)近くの指定避難所に災害時要援護者のための十分なスペースを設け、状況によって、そして本人の持っている特性に応じて福祉避難所に移ってもらうことを考えてほしい。	部長
			(6)災害時要援護者が福祉避難所や指定避難所に行くことができない事例があれば、むすブンやめぐリンの車両、福祉車両などの協力を得てほしい。	
			(7)医療的ケアを必要とする人の中には、在宅医療を必要としている方もいる。医療機器などには電源が必要で、停電への備えのためのポータブル電源等の準備をすべき。	
9	高瀬弘行	特殊詐欺対策としての「NTTのナンバー・ディスプレイ及びナンバー・リクエスト無償化サービス」の活用について	(1)兵庫県警が特殊詐欺対策として「でんでんむし運動の推進」を行っているが、その内容は。	部長
			(2)NTT西日本の無償化サービスとは具体的にどのようなものか。	
			(3)「自動録音電話機等の購入に対しての補助制度」との一体となった周知活動と併せて、広報などで広く「NTT西日本の無償化サービスの活用」を周知することを求める。	市長
		児童虐待について	(1)過去5年間の相談対応件数の推移 ○全国と比べて多いのか。	部長
			(2)過去5年間の相談内容別の件数は。西脇市としての特徴はあるのか。	
			(3)自治体に求められる主な役割は。	
(4)質問(1)～(3)を踏まえた西脇市の施策と課題は。				
(5)こども家庭ソーシャルワーカーの意義と育成などについて	市長			
(6)上記議論を踏まえ、市長としての児童虐待防止に向けた今後の取組方針について				

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
10	坂部武美	西脇市の文化芸術の振興について	(1)西脇市の文化芸術度は ○市長就任10年、西脇市の文化の薫り高いまちづくり、西脇市の文化度は高まったのか。	市長
			(2)西脇市文化・スポーツ振興財団の役割は ①財団は何を担うのか。行政との役割分担は ②西脇市岡之山美術館の役割は	
			(3)文化芸術振興に向けて ①文化芸術振興を審議する委員会設置を ②文化芸術振興の所管を市長部局へ	
11	藤原秀樹	学校におけるICT活用について	(1)学校におけるICT活用の格差について ○学校におけるICT活用の現状は。	部長
			(2)端末の活用について ○端末の活用状況は。	
			(3)端末利活用における学校間格差について ○今後の端末利活用の学校間格差の解消を聞く。	
			(4)教育データの活用について ○個々の教育データを生かす取組は。	教育長
			(5)個人情報保護について ○個々の教育データを活用するには利用目的を定める必要があると思うがどうか。	部長
			(6)端末の更新について ○前例にとらわれず、先を見据えた検討をしてはどうか。	
			(7)学校におけるICT活用と環境整備についての考えは。	市長 教育長